

平成 18 年度
館山市 男女共同参画 市民意識調査
報告書

平成19年3月
館山市

目 次

調査の概要

1	調査の趣旨	1
2	調査内容	1
3	調査設計	1
4	回収結果	2
5	調査結果の見方	3
6	他調査との比較について	3

調査の結果

1	回答者のプロフィール	
(1)	性別	6
(2)	年齢構成	6
(3)	地区構成	6
(4)	世帯構成	7
(5)	子どもの有無	7
(6)	配偶者関係	8
(7)	共働き状況	8
(8)	職業構成	9
2	男女平等意識	
(1)	男女の平等意識	10
(2)	平等になるために重要なこと	18
(3)	「男は仕事、女は家庭」の考え方	21
3	家庭生活	
(1)	家事等の役割分担	23
(2)	理想的な家事等の役割分担	25
4	教育	
	子どもの教育における男女平等の意識	27
5	人権	
(1)	女性の人権が侵害されていると感じること	30
(2)	セクシュアル・ハラスメントを受けた経験	34
6	用語の周知度	
(1)	用語の周知度	36
7	職業	
(1)	女性が職業をもつことについての考え	39
(2)	仕事と家庭生活の両立のために必要な環境整備	41
8	社会活動等への参画	
(1)	審議会等への女性委員の登用について	46
(2)	地域活動への参画状況	48
	自由記述	52

参考資料

館山市男女共同参画市民意識調査 調査票	62
---------------------	----

調査の概要

1 調査の趣旨

この調査は、館山市における男女共同参画施策を推進する上での基礎資料とするために初めて実施し、当市の男女共同参画の意識、実態について把握し、その問題点を解析し、課題を明確にすることを目的とする。

2 調査内容

- (1) 男女平等意識
- (2) 家庭生活
- (3) 教育
- (4) 人権
- (5) 用語の周知度
- (6) 職業
- (7) 社会活動等への参画
- (8) 属性
- (9) 自由記述

3 調査設計

- (1) 調査地域 館山市全域
- (2) 調査対象 館山市在住の満20歳以上の男女
- (3) 標本数 1,000人
- (4) 標本抽出法 住民基本台帳(平成18年9月1日現在)に基づく層化無作為抽出法(男女別・年代別・地区別)
- (5) 調査方法 郵送により調査票、返信用封筒を配付し、郵送により回収
- (6) 調査期間 平成18年9月7日～9月22日

〔層化〕

市内を次の10地区に分類した。

地区名	住所(大字)表示
館山地区	館山、上真倉、下真倉、沼、宮城、笠名、大賀、富士見
北条地区	北条、新宿、長須賀、八幡、湊、高井、上野原、北条正木
那古地区	那古、正木、亀ヶ原、小原
船形地区	船形、川名
西岬地区	香、塩見、浜田、早物、見物、加賀名、波左間、坂田 洲崎、西川名、伊戸、坂足、小沼、坂井
神戸地区	大神宮、中里、竜岡、犬石、佐野、藤原、洲宮、茂名、布沼
富崎地区	布良、相浜
豊房地区	東長田、西長田、大戸、出野尾、岡田、南条、飯沼、古茂口 作名、山荻、畑、神余
館野地区	大網、安布里、山本、国分、稲、腰越、広瀬
九重地区	宝貝、水岡、安東、二子、藪、水玉、大井、竹原、江田

4 回収結果

(1) 有効回収数 484件(48.4%)

		抽出対象数(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
性別	女性	19,345	507	277	54.6%
	男性	18,821	493	204	41.4%
	無回答			3	
年代別	20歳代	4,579	125	34	27.2%
	30歳代	6,016	170	57	33.5%
	40歳代	5,269	126	59	46.8%
	50歳代	8,455	206	114	55.3%
	60歳代	7,470	197	120	60.9%
	70歳以上	6,377	176	98	55.7%
	無回答			2	
地区別	館山地区	9,779	254	137	53.9%
	北条地区	9,574	251	120	47.8%
	那古地区	4,155	110	50	45.5%
	船形地区	2,847	74	36	48.6%
	西岬地区	2,281	60	35	58.3%
	神戸地区	2,350	62	27	43.5%
	富崎地区	883	23	8	34.8%
	豊房地区	2,066	55	22	40.0%
	館野地区	2,791	73	32	43.8%
	九重地区	1,440	38	13	34.2%
	無回答			4	
	合計	38,166	1,000	484	48.4%

(2) 無効数 13件

郵送による配達未着 5件

白紙のまま返却 8件

5 調査結果の見方

- (1) 結果はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分率の合計が100%にならないことや、個々の比率の合計とその小計の数値が一致しないことがある。
- (2) 数値やグラフ中の()内の数値は回答者総数(又は、分類別の該当者数)を示し、回答比率は、これを100%として算出した。
- (3) 1人の対象者に2つ以上の回答を認めた設問では、百分率(%)の合計は、100%を超える場合がある。
- (4) 分析の軸(縦軸)としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの基数の合計が全体と一致しない場合がある。また、分析によっては、必要な選択肢を抽出して使用したり、複数の選択肢をまとめて使用しているところもある。
- (5) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。

6 他調査との比較について

市民意識調査の分析にあたり、他調査との比較を行っている。使用した資料の出典は以下の通りである。なお、「比較分析」の数字は、比較した問番号である。

千葉県調査：「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」	比較分析：問1, 2, 3, 6, 7, 8, 9, 11, 14, 16
対 象	千葉県在住の満20歳以上の男女 2,500人
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	平成16年9月13日～9月30日
回収状況	有効回収率37.9%

全国調査：「男女共同参画社会に関する世論調査」(内閣府大臣官房政府広報室)	比較分析：問13
対 象	全国20歳以上の者 5,000人
調査方法	調査員による個別面接聴取
調査時期	平成16年11月25日～12月5日
回収状況	有効回収率70.0%(男性65.0% 女性75.0%)